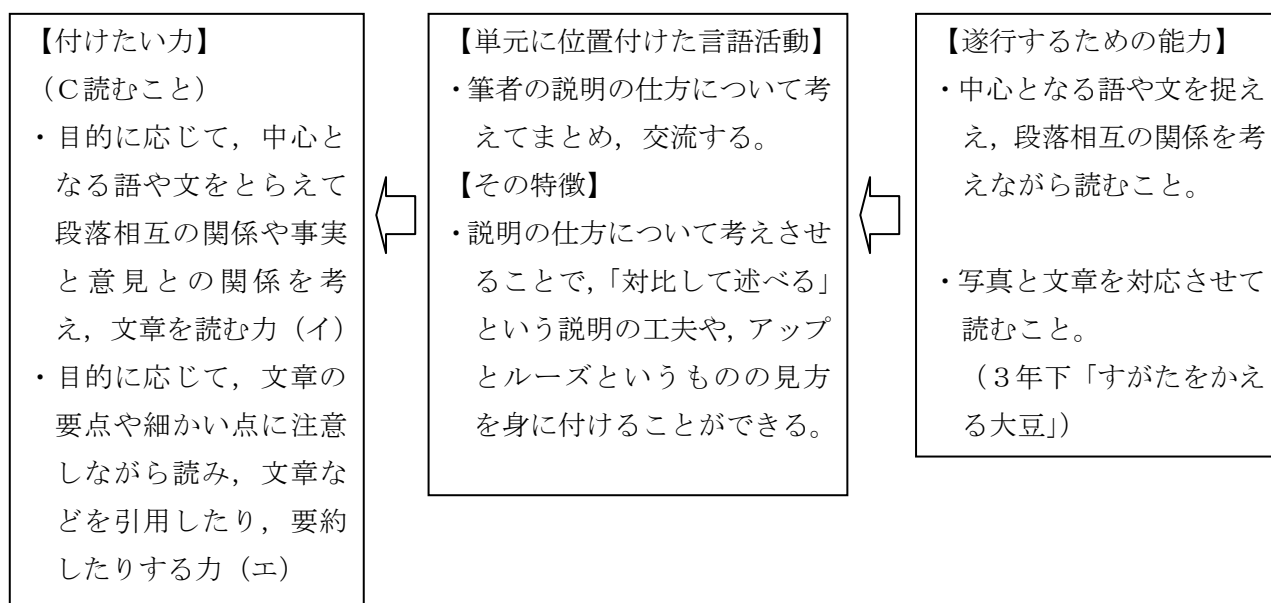


第4学年 国語科学習指導案

日時 平成29年 9月28日(木) 6校時
児童 4年3組 男15名 女17名 計32名
指導者 佐藤 優也

1 単元名 段落どうしの関係をとらえ、説明の仕方について考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」(光村図書 4年)

2 単元に位置付けた言語活動



3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに第3学年「すがたをかえる大豆」の学習で、中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら読むことと、写真と文章を対応させて読むことを学習してきた。また、第4学年「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」では、事実と筆者の考えを読み分け、段落相互の関係を考える学習をしてきた。これらの学習を通して、児童は、中心となる語や文を捉えること、事実と筆者の考えを読み分けることができるようになってきた。しかし、中心となる語や文を捉えることを苦手としている児童もいる。

交流活動については、国語に限らず各教科の中でもお互いの考えを交流し合っている。児童は交流を通して相手の考えから、自分の考えを広げることが出来るが、交流を通して考えを深めることは出来ていない。本単元では、相手に自分の考えを伝えることで、自分の考えを再確認し、また相手の考えから自分の考えを練り直し、深められるようにしていきたい。

(2) 教材について

小学校学習指導要領における第3・4学年「C読むこと」領域の目標は、「目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元の指導事項は、「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む力」「目的に応じて、中心

となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む力」「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりする力」を付けることをねらいとする

本教材「アップとルーズで伝える」は、私たちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。メディアを通じて受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気付かせ、相対化する視点をもたせたい。また、わかりやすい説明の仕方を学び、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を読む力を付けることができる教材である。

(3) 指導にあたって

【研究内容 1 言語活動を充実させる単元構想】

本単元では、「筆者の説明のコツを見つけよう」ということを単元のゴールとして設定する。

【研究内容 2 思いをもって伝え合う言語活動】

第一次では、まず、「アップとルーズで伝える」で使われている写真から分かることを話し合う。次に、全文を読み、感想を交流し合う。第三次では、「アップとルーズで伝える」で使われている筆者の説明のコツを使って、新聞での「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見付け、説明するという活動をしていくことを確認する。

第二次では、段落相互の関係を読み取り、それぞれの段落のもつ役割を考えていく。また、中心となる語や文に着目することで、中心となる語や文を捉えることができることを身に付けさせる。さらに、写真と文章を対応させながら筆者の説明の工夫やアップとルーズのそれぞれの特徴について学ばせる。

第三次では、第2次までの学習を生かし、新聞で使われているアップとルーズの伝え方を見付け、そのよさについて交流し合う活動を設定する。

【研究内容 3 高まりを自覚させる振り返り】

単元の学習を通じて身に付けた力や学びの高まりを自覚させるために、振り返りシートを活用し、単位時間ごとの振り返りを積み重ねる。単元の終わりには指導目標に関連する項目で学習を振り返り、次の学習への意欲につなげていく。

4 単元の指導目標及び評価規準

(1) 単元の指導目標

- 写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。(読むことイ)
- 写真と対応した部分に注意して読み、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を整理することができる。(読むことエ)
- 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解することができる。(伝統的な言語文化と特質に関する事項イ(ク))

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。	・それぞれの段落の役割を、本文の内容から理解している。 ・写真と本文の対応関係を理解している。	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

5 単元の系統性

3 学年

4 学年

5 学年

「大きな力を出す」
「動いて、考えて、また動く」
・事実と考えを読み分け、段落どうしの関係を考える。



「すがたをかえる大豆」
・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読む。



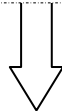
「アップとルーズで伝える」
・段落どうしの関係を考えるとともに、文章全体における段落の役割について考える。
・写真と文章を対応させて読む。



「天気を予想する」
・文章と資料を対照させながら読む。
・資料を用いた筆者の意図について考える。



「クラブ活動リーフレットを作ろう」
・写真と文章を対応させて、説明する文章を書く。



「ウナギのなぞを追って」
・写真、図表、地図などと文章を対応させながら、段落どうしのつながりに気を付けて読む。

6 単元の指導計画及び評価計画（8時間扱い）

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一次 2時間	①② P.34・35の写真を 見て、それぞれの写真から分 かることを話し合う。 「筆者の説明のコツを見つ けよう」という学習課題を設 定し、学習の見直しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画表を用いて単元の見 通しがもてるようにする。 音読しながら段落を確かめ、 写真にも番号を付けさせる。 	【関】説明文の書き方に関心を もち、「アップとルーズで伝 える」の説明の特徴を見付け ようとしている。 (観察・発言)
二次 4時間	③ 「対比」の意味を学習する。 第1・2段落と第3段落の 関係を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章の対応を考えさせ る。中心となる語や文に着目 させ、段落相互の関係を理解 させる。 	【読】写真と文章を対応させな がら読み取っている。 (ワークシート・発言)
	④ 第4～6段落の関係を捉 える。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を図に表して 整理する。 「対比」している関係をわかり やすくするために、段落の関 係を図で表して捉えさせる。 	【読】それぞれの段落の役割 を、本文の内容から理解して いる。(ワークシート・発言)
	⑤ 第7・8段落を読み、その 役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 第7段落と第8段落の役割を 考えながら要点をまとめる。 文章全体を三つに分け、段落 相互のつながりを考えなが ら、文章全体を捉えさせる。 	【読】段落相互の関係をつか み、文章全体の構成を理解し ている。(ノート・発言)
三次 2時間	⑥⑦ 新聞で「アップ」と「ル ーズ」の使われ方を見付け、 説明するうえでのよさを話 し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ新聞記事を確かめなが ら、「アップ」と「ルーズ」の 使い分けを捉えさせる。 グループを少人数にし、一人 一人の発表の時間を確保す る。 	【読】新聞記事から「アップ」 と「ルーズ」の使われ方を見 付け、説明するうえでのよさ を考えている。 (ワークシート・発言)
	⑧「コラム」を読み、写真と文 章の対応の仕方を考える。 学習を振り返り、まとめ る。	<ul style="list-style-type: none"> 写真などを文章で説明するど きに、言葉や文章によって、 受ける印象が変わることを捉 えさせる。 	【読】写真と文章の対応の仕方 を理解している。(発言)

7 本時の指導

(1) 本時の目標

写真と文章の対応関係を読み取り、第4段落から第6段落までの段落相互の関係をつかむことができる。

(2) 具体的評価規準

写真と文章を対応させながら読み、段落相互の関係や筆者の説明の仕方について考えている。

(努力を要する児童への支援：キーワードに着目させて、段落相互の関係をつかませる。)

(3) 思いをもって伝え合う言語活動について

<p>① 目的と読みの視点を明らかにした活動について【言語活動1】 目的・・・写真と文章との対応関係や、段落相互の関係に気付かせるために読む。 読みの視点・・・アップとルーズで、わかること、わからないことを見付ける。</p> <p>② 考えを形成し、交流し合う活動について【言語活動2】 アップとルーズで、「わかること」「わからないこと」は何かを読み取り、第4段落から第6段落までの関係について自分の考えをもち、交流することで自分の考えを深めていく。</p>

(4) 展開

段階	学習活動	○支援の手立て ★評価
みとおす 5分	<p>1 前時の学習を想記する。</p> <p>2 学習課題をつかむ。 「アップ」と「ルーズ」のちがいを見つけながら、段落の関係を考えよう。</p> <p>3 本時の流れを確認する。</p>	<p>○学習計画表をもとに、本時の学習内容を確認する。</p> <p>○第3段落最後の問いの文を取り上げ、本時の課題へ結び付けるようにする。</p>
ふかめる 35分	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 「アップ」と「ルーズ」でわかること、わからないことを読み取る。 「アップ」と「ルーズ」でわかること、わからないことにサイドラインを引く。それをもとにワークシートに整理する。</p> <p>6 読み取ったことを確かなものにする。 アップ…○わかること →細かい部分の様子 ●わからないこと →走っている選手以外の、うつさ れていない多くの部分 ルーズ…○わかること →広いはんいの様子 ●わからないこと →各選手の顔つきや視線、それ から感じられる気持ち</p> <p>7 第4段落から第6段落までの関係を捉える。 ・第4、5段落と第6段落の関係を考えて、文でまとめる。 ・まとめたものを交流する。 ・全体で段落ごとに何が書かれているのかを確認し、段落どうしの関係をつかむ。</p>	<p>○アップとルーズの違いに気を付けながら、音読させる。</p> <p>○大切な言葉を選び、短い言葉でまとめさせる。【言語活動1】 ★アップとルーズで、わかること、わからないことを見付けているか。 (ワークシート・発言)</p> <p>○中心となる語や文を明らかにしながら、読み取った内容を確認していく。</p> <p>○中心となる語や文に着目させ、第4段落と第5段落が同じ構成になっていることに気付かせる。</p> <p>○第4段落と第5段落が対比関係にあることを確認する。</p> <p>○「第4段落ではアップについて、第5段落ではルーズのことが書いてある。第6段落は二つの段落のまとめが書いてある。」というようにまとめさせたい。それを確かにするために交流をさせる。【言語活動2】</p>

ふりかえる 5分	8 本時の学習を振り返る。	○本時の学習でわかったことを振り返らせる。
	9 次時の学習を予告する。	○次時は、第7段落と第8段落について読み取り、それぞれの段落の役割を考えていくことを伝える。

(5) 板書計画

第4段落ではアップについて、第5段落ではルーズのことが書いてある。第6段落は二つの段落のまとめが書いてある。

⑤ ←→ ④

ルーズ アップ

└───┘

⑥

まとめ

「アップ」と「ルーズ」のちがいを見つけながら、段落の関係を考えよう。

アップとルーズで伝える

⑤写真	対比	④写真
広いほんいの様子	わかること	細かい部分の様子
顔つき 視線 気持ち	わからないこと	うつされていない 多くの部分